

第2次枚方市立図書館蔵書計画(素案)について

平成29年8月 枚方市立中央図書館

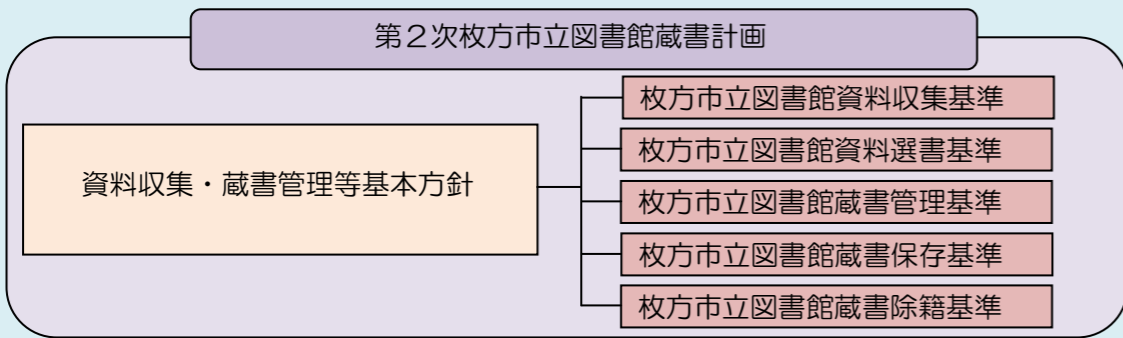
第2次蔵書計画の基本的考え方

枚方市立図書館第2次グランドビジョンで明らかにした「市立図書館のあるべき姿(理念)」を継承し、枚方市立図書館第3次グランドビジョンで示す図書館の運営方針の実現を目指し、中央図書館を司令塔として、学問体系や系統を重視し、かつ、市民のニーズにも応える、バランス重視の蔵書群を構築するための方策を明らかにする。

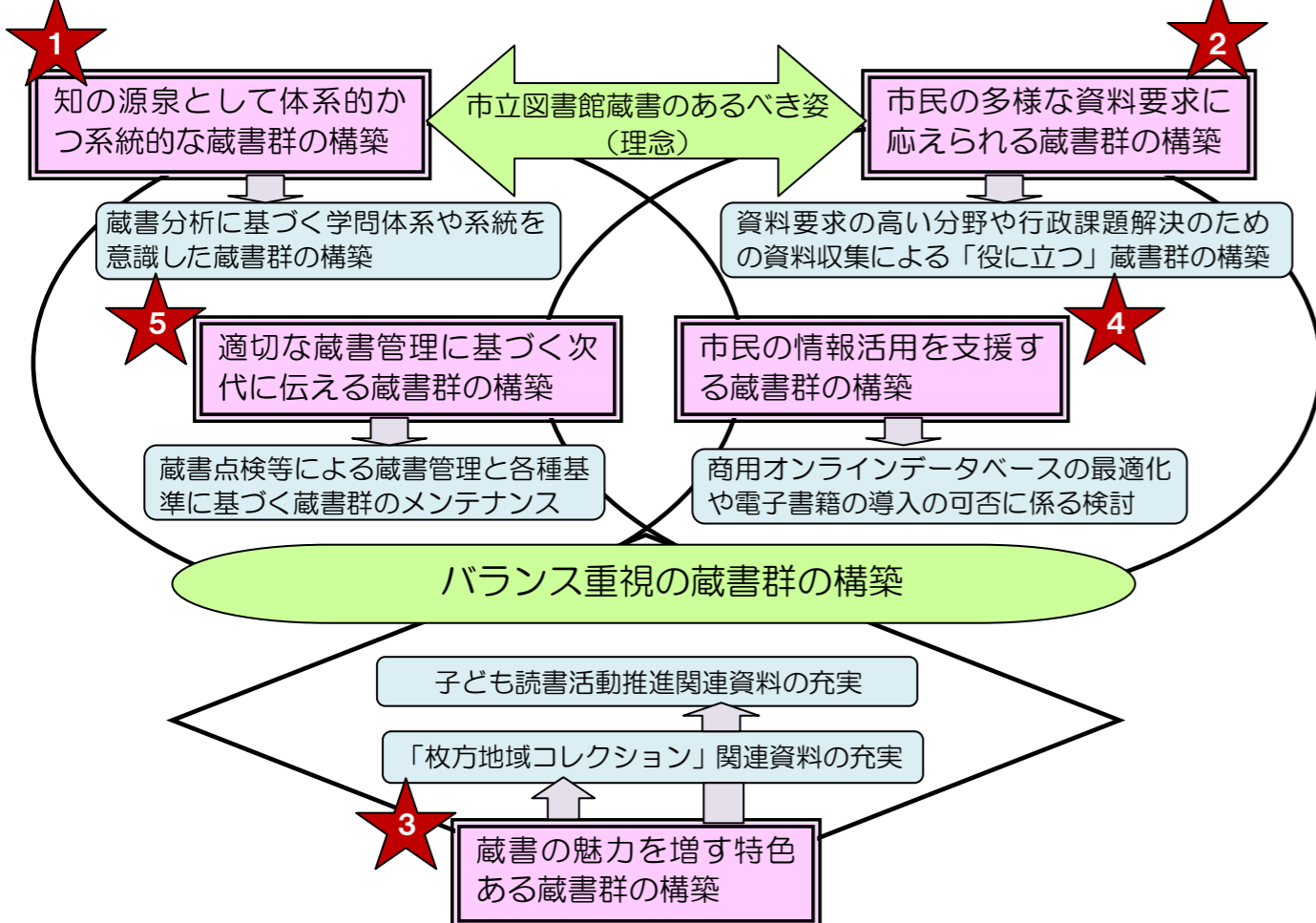
市立図書館のあるべき姿(理念)

- 図書館は、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、広く市民に提供して、その教養、調査研究、余暇活動などに役立てる社会教育機関である。
- 図書館は、市民のニーズに応じて資料や情報を提供する地域の情報拠点である。

第2次枚方市立図書館蔵書計画の構成



枚方市立図書館蔵書のあり方(イメージ)



これからの枚方市立図書館蔵書のあり方と具体的な取組

1 知の源泉としての体系的かつ系統的な蔵書群の構築

- (1) 学問体系に照らした蔵書の分析
- (2) 中央図書館・分館・分室の役割分担の検討
- (3) 上記に基づく資料収集および蔵書群の構築

2 市民の多様な資料要求に応えられる蔵書群の構築

- (1) 最新情報が求められる分野への配慮
- (2) 行政課題解決へ向けた必要な資料の収集
- (3) 汚損・破損等状態が劣化した蔵書の買い替え
- (4) 活字資料が読みにくい人対象の資料の収集

3 蔵書の魅力を増す特色ある蔵書群の構築

- (1) 子ども読書活動推進関連資料の収集
 - * 学校図書館での読書活動支援、団体貸出図書 の充実
 - * 評価の定まった乳幼児向け図書のさらなる充実
 - * ヤングアダルト向け資料の積極的な収集
 - * 多言語の資料や、マルチメディア、LLブック等の収集
- (2) 枚方地域コレクションの収集
 - * コレクションリストの作成及び公開基準の策定
 - * 枚方市にかかる各分野の資料の網羅的な収集
 - * 歴史的価値を有する行政文書や市史資料等の電子化
 - * 地域文化に関する資料の収集

4 市民の情報活用を支援する蔵書群の構築

- (1) AV資料等非活字資料の資料収集基準に基づく収集
- (2) 商用オンラインデータベースの最適化
- (3) 市立図書館への電子書籍導入の可否についての一定の方向性の提示

5 適切な蔵書管理に基づく次代に伝える蔵書群の構築

- (1) より効率的な選書体制の検討
- (2) 各種基準(資料選書、蔵書管理、蔵書保存、蔵書除籍)に基づく資料の収集と蔵書のメンテナンス
- (3) 毎年度全図書館施設で蔵書点検を実施
- (4) 地域資料電子化事業の推進及び新たな蔵書保管場所の検討

第2次枚方市立図書館蔵書計画<資料収集基準>

バランス重視の蔵書群の構築を進めるため、資料収集にあたる考え方や収集する資料の範囲、難易度等の基準を定める

資料収集基準の中のバランス重視を示す特徴的な基準

- 全資料・全館共通の収集基準
 - (1) より多くのタイトル数を確保する方向で資料収集を行い、複本については別途ルールを定めて一定数以上は購入しない。
 - (2) 資料の購入・非購入の判断にあたり、蔵書構成全体のバランスを考えた場合、類書が有るか、突出して専門的でないか、または特定の分野のみに蔵書が偏る結果とならないかという点に留意する。
- リクエストの取り扱い
 - (1) リクエストは図書館資料の選定に際して参考にするためのものとする。
 - (2) リクエストに対しては、市立図書館が収集対象としている資料形態に限り、市外の公共図書館等からの借受または購入等により当該資料の提供に努める。また、国立国会図書館、大阪府立図書館については、市立図書館の収集範囲を超える専門書等についても積極的に借り受け、提供に努める。ただし市外の公共図書館等からの借受が期待できず、市立図書館全館および各館の蔵書構成のバランスや資料購入予算の状況、その他資料収集基準等を総合的に勘案して、資料を購入する判断に至らなかった場合は、提供できないことがある。